週間住宅　平成21年8月17日（月）

戸建て賃貸で新ブランド

ハイアスと安成工務店　新商品も投入

ハイアス・アンド・カンパニー（東京都港区、濱村聖一社長）と、安成工務店（山口県下関市、安成信次社長）は新たな戸建賃貸ネットワーク「ウィルスタイル」を立ち上げた。戸建賃貸商品「ユニキューブ」を扱う「ユニキューブサプライヤーズクラブ」と、長屋方式のメゾネット賃貸「エコパティオ」を展開する「メゾネットサプライヤーズクラブ」を統合した新ブランド。

9月には設立後の初弾商品として戸建ての「ユニフォート」、メゾネット長屋の「Dシングル」を投入する。両商品とも狭小地対応型だ。複数棟を敷地内に建てる場合、従来商品を含めた4商品を組み合わせることで敷地への対応力を高める。また、それぞれの商品は、次世代省エネ基準をクリアした断熱材を標準採用し、20年の壁体内無結露保証を付与する。

2棟セットを基本にすることで、価格を抑える。主力商品の「ユニキューブ」は延べ床70平方㍍で740万円、「エコパティオ」は68平方㍍で690万円にする。今後も、他社の売れ筋商品に対抗できる商品をラインアップに追加することで市場競争力を高めていく考えだ。また、コストダウン策として、標準以外のキッチンセット、UB、洗面化粧台のすべてをハウステックの商品に統一する。グレード別にしたパッケージ商品として提供することでコストメリットを訴求していく方針。

今後は戸建賃貸を展開してきた4年間のノウハウを事業展開マニュアルや営業研修に落とし込んで会員企業に提供していく。